

DisplayPort対応コンピューター向け 4ポートKVMスイッチ - USB 3.0

SV431DPU3A2



*実際の製品は写真と異なる場合があります。

FR: Guide de l'utilisateur - fr.startech.com

DE: Bedienungsanleitung - de.startech.com

ES: Guía del usuario - es.startech.com

NL: Gebruiksaanwijzing - nl.startech.com

PT: Guia do usuário - pt.startech.com

IT: Guida per l'uso - it.startech.com

本製品の最新情報、技術仕様、サポートについては、
www.startech.com/SV431DPU3A2をご覧ください。

FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合（干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます）、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします：

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

本デバイスは、FCC規格Part 15に準拠しています。お使いの際には、次の注意事項をよくお読みください。(1) 本デバイスが有害な干渉を引き起こすことはありません。(2) 本デバイスは予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければなりません。

StarTech.comにより明示的に承認されていない変更もしくは改変を行った場合、本デバイスを操作するユーザー権限が無効になる恐れがあります。

インダストリーカナダ準拠ステートメント

本クラスBデジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。

CANICES-3 (B)

商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用する場合がありますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

目次

はじめに.....	1
製品図.....	1
パッケージの内容.....	2
動作環境.....	2
USB 3.0およびUSB 3.1 Gen 1について.....	2
KVMスイッチのセットアップ.....	3
ゴム足の取り付け.....	3
コンソールとKVMスイッチの接続.....	3
コンピューターとKVMスイッチの接続.....	3
ビデオアダプタについて.....	4
ドライバについて.....	4
トラブルシューティング.....	4
KVMスイッチの操作.....	5
LEDインジケーターについて.....	5
ポートの選択.....	5
オートスキャンの開始.....	5
オートスキャン間隔の変更.....	6
仮想USB HID機能について.....	6
ホットキーコマンドを使う.....	7
ホットキーコマンドの有効化.....	7
ポートの選択.....	7
オートスキャンの開始.....	7
オートスキャン間隔の変更.....	7
マニュアルスキャンの開始.....	8
オーディオロックをオンにする.....	8
別のホットキーコマンド.....	8

技術サポート	9
保証に関する情報.....	9

はじめに

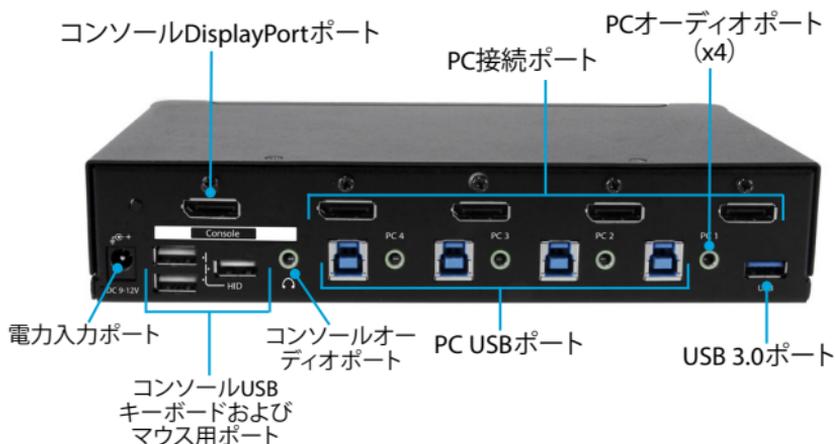
SV431DPU3A2を使用すれば、モニター1台、キーボード、マウス、オーディオ周辺機器をセットで、DisplayPort対応コンピューター4台を制御することができます。このKVMスイッチはキーボードとマウスから分離したビルトイン2ポートUSBハブを特徴とし、USB周辺機器を接続コンピューター間で共有することができます。また、USB 3.0技術に対応しており、最大データ転送速度5 Gbpsを実現できます。

製品図

フロントビュー



バックビュー



パッケージの内容

- 1 x 4ポートDisplayPort KVMスイッチ
- 4 x ゴム足
- 1 x ユニバーサル電源アダプタ (北米 / EU / UK / AU で使用可能)
- 1 x クイックスタートガイド

動作環境

- USB 2.0 または USB 3.0 ポートを備えたホストコンピューター
- DisplayPort 対応コンピューター
- DisplayPort 対応ディスプレイデバイス (例: モニタ、TV など)
- USB キーボードおよびマウス対応

本KVMスイッチの最大解像度は30Hzで4Kです。最大解像度を得るには、お使いのモニタとコンピューターが30 Hz - 4Kに対応している必要があります。

注意: 最大USBスループットを得るには、USB 3.0ポートを搭載したコンピュータを使用する必要があります。

システム要件は変更される場合があります。最新のシステム要件は、www.startech.com/SV431DPU3A2 でご確認ください。

USB 3.0およびUSB 3.1 Gen 1について

USB 3.0はUSB 3.1 Gen 1としても知られています。この接続規格の最大転送速度は5 Gbpsです。

KVMスイッチのセットアップ

ゴム足の取り付け

KVMスイッチの底部にゴム足を取り付けるには、4つのゴム足から裏当てを剥がし、KVMスイッチ底部の指示位置に差し込みます。

コンソールとKVMスイッチの接続

1. コンピューターおよび当該コンピューターに接続しているデバイスや周辺機器 (例: プリンタ、外付けHDDなど) の電源を切ります。
2. モニタをKVMスイッチの**コンソールDisplayPort**ポートに接続します。
3. USBキーボードとマウスをKVMスイッチの**コンソールUSBキーボードポート**と**マウスポート**に接続します。
4. 必要なら、スピーカーまたはヘッドセットをKVMスイッチの**コンソールオーディオポート**に接続します。

コンピューターとKVMスイッチの接続

KVMスイッチには4台のコンピューターを接続できます。

1. KVMスイッチに接続したいコンピューターとそのコンピューターに接続されているデバイスや周辺機器 (例: プリンタ、外付けHDDなど) の電源を切ります。
2. オス-オスDisplayPortケーブルをコンピューターのDisplayPortポートとKVMスイッチの番号付き**PC接続ポート**のひとつに接続します。
3. USB A - BケーブルをコンピューターのUSBポートと手順2で接続したDisplayPortケーブルと同じ番号のKVMスイッチの**PC USBポート**に接続します。
4. オーディオを使用する場合は、オーディオケーブルのセットをコンピューターのスピーカーポートと手順2で接続したDisplayPortケーブルと同じ番号のKVMスイッチの**PCオーディオポート**に接続します。
5. 手順1~4を繰り返してKVMスイッチに残りのコンピューターを接続します。

注意: 接続したコンピューターのすべてからUSB 3.0周辺機器を使用したい場合は、その周辺機器がKVMスイッチの**USB 3.0ポート**に接続されていることを確認します。

6. ユニバーサル電源アダプタを壁コンセントとKVMスイッチの**電源入力ポート**に接続します。

7. **POWER (電源)** ボタンを押してKVMスイッチの電源を入れます。KVMスイッチに電力が供給されていることを示すLEDインジケーターが点灯します。
 8. KVMスイッチのフォーカスをKVMスイッチに接続したコンピューターまたはデバイスに変更し、コンピューターまたはデバイスの電源を入れます。完全にロードされるまで待ち、接続したコンピューターまたはデバイスのキーボードとマウスの動作をテストします。
 9. 接続したコンピューターまたはデバイスについて手順8を繰り返します。
- これで、接続したコンピューターとデバイスを切り替えられるようになります。KVMスイッチに問題が発生した場合は、「トラブルシューティング」のセクションをご覧ください。

ビデオアダプタについて

本KVMスイッチと一緒にビデオアダプタを使用する場合、アクティブビデオアダプタを使用する必要があります。パッシブビデオアダプタを使用する場合は、性能に問題が発生する可能性があります。

使用するビデオアダプタがアクティブアダプタであるかどうかは、製造メーカーにご確認ください。

ドライバについて

キーボードとマウスはUSB技術に対応しているオペレーティングシステムに既にインストールされている汎用USBドライバをしているため、本KVMスイッチにドライバをインストールする必要はありません。

トラブルシューティング

本KVMスイッチとPCを使用していて問題が発生した場合は、以下のようにコンピューターのBIOS設定を変更してみてください。

1. **HALT ON ERROR (エラーで作業を中断する)** を **ALL BUT KEYBOARD (キーボードを除くすべて)** に設定します。
2. **PNP AND PCI SETUP (PNPとPCIのセットアップ)** で、以下の内容を実行してください。
 - **PNP OS INSTALLED (PNP OSインストール済み)** を **YES (はい)** に設定します。
 - **USB IRQ** を **ENABLED (有効)** に設定します。

KVMスイッチの操作

LEDインジケーターについて

KVMスイッチには5つのLEDインジケーターが搭載されています。4つのポート接続と1つの電源LEDにつき1つのLEDインジケーターが反応します。

LED	動作	意味
ポート選択/リンクLED	緑色のLEDが点灯している	ポートがアクティブで接続されたコンピューターまたはデバイスの電源が入っています。
	赤色のLEDが点灯している	現在、ポートに接続されたコンピューターやデバイスが選択されています。
	LEDが点滅している	KVMスイッチがオートスキャンを実行中です。
電源LED	LEDが点灯している	KVMスイッチの電源が入っています。

ポートの選択

ポートを選択するには、KVMスイッチ前面の番号付き**ポート選択ボタン**のひとつを押します。

注意:ポート間を切替える際、ビデオ信号の通信に少し時間がかかります。ポートを選択後、3~4秒待ってから別のポートを選択してください。

オートスキャンの開始

オートスキャン機能を開始したら、システムがKVMスイッチに接続された電源入りのコンピューターを一定間隔で順番に自動的にスキャンします。

オートスキャン中にキーボードやマウスの何らかの操作を検知すると、操作が停止するまでスキャンを保留します。その後、次の順番のコンピューターからオートスキャンを再開します。

- オートスキャンを開始するには、**ポート選択ボタン3**と**ポート選択ボタン4**を同時に押します。
- オートスキャンを終了するには、KVMスイッチ前面の番号付き**ポート選択ボタン**のひとつを押します。

オートスキャン間隔の変更

オートスキャンの時間間隔は次の4つのオプションから1つを選ぶことができます。3、8、15、30秒。初期設定では停電や再起動後のスキャン時間は3秒に設定されています。

オートスキャン間隔を設定する際、KVMスイッチから設定時間を示す回数分ビープ音が鳴ります。

ビープ数	対応オートスキャン間隔
1	3秒
2	8秒
3	15秒
4	30秒

- オートスキャン間隔を変更するには、**ポート選択ボタン1**と**ポート選択ボタン2**を同時に押し下げ、設定したい時間に対応する回数ビープ音が鳴るのを聴いてから、放します。

仮想 USB HID機能について

仮想USB HID機能は、KVMスイッチに接続されたすべてのコンピューターのUSB対応のヒューマン入力デバイス(例:キーボード、マウス)をシミュレートすることができます。この機能を利用すれば、ポートを切替える時間を節約することができます。

- この機能を使用するには、次の手順のひとつを実行します。
 - USBデバイスをKVMスイッチ前面の**コンソールUSBキーボードポート**と**マウスポート**に接続します。
 - USBデバイスをKVMスイッチ背面の3つの**コンソールUSBキーボードポート**と**マウスポート**のうちいずれかに接続します。

ホットキーコマンドを使う

ホットキーコマンドを使用してKVMスイッチを操作することができます。ホットキーコマンドはすべて左**Ctrl**キーを2回押してから、1つか2つほかのキーを押します。

コマンドを正しく入力するとKVMスイッチから高いビープ音が鳴ります。コマンドが間違っていると低いビープ音が鳴ります。間違ったホットキーコマンドはコンピューターには送信されません。

ホットキーコマンドの有効化

1. KVMスイッチでホットキーコマンドを使用できるようにするには、左**Shift**キーを押しながら左**Num Lock**キーを2回押します。
 2. 左**Shift**キーを放します。
 3. 左**Ctrl**キーを押します。
- ホットキーコマンドを無効化するには、手順1~3を繰り返します。

ポートの選択

ポートを選択するには、左**Ctrl**キーを2回押してから、選択したいポートの番号を押します。

例えば、ポート3を選択するには、左**Ctrl**、左**Ctrl**、**3**を押します。

注意:上記ホットキーコマンドを入力する際、キーボード右側のキーパッドは使用しないでください。

オートスキャンの開始

オートスキャン機能を開始したら、システムがKVMスイッチに接続された電源入りのコンピューターを一定間隔で順番に自動的にスキャンします。

オートスキャン中にキーボードやマウスの何らかの操作を検知すると、操作が停止するまでスキャンを保留します。その後、次の順番のコンピューターからオートスキャンを再開します。

- オートスキャンを開始するには、左**Ctrl**、左**Ctrl**、**F1**を押します。
- オートスキャンを終了するには、左**Ctrl**を2回押します。

オートスキャン間隔の変更

オートスキャンの時間間隔は次の4つのオプションから1つを選ぶことができます。3、8、15、30秒。初期設定では停電や再起動後のスキャン時間は3秒に設定されています。

オートスキャン間隔を設定する際、KVMスイッチから設定時間を示す回数分ビープ音が鳴ります。

ビープ数	対応オートスキャン間隔
1	3秒
2	8秒
3	15秒
4	30秒

オートスキャン間隔を変更するには、設定したい時間に対応する回数のビープ音が鳴るまで、**左Ctrl**、**左Ctrl**、**F3**を押します。

マニュアルスキャンの開始

マニュアルスキャン機能を使用すれば、KVMスイッチに接続された電源入りのコンピューター間を手動で切り替えることができます。

1. マニュアルスキャンを開始するには、**左Ctrl**、**左Ctrl**、**F2**を押します。
2. **上矢印**キーまたは**下矢印**キーを押します。

マニュアルスキャンを終了するには、別のキーを押します。

オーディオロックをオンにする

オーディオロック機能をオンにすると、選択したコンピューターに対応したオーディオが選択されます。オーディオロック機能をオフにすると、選択したコンピューターに対応したオーディオ選択が停止します。

オーディオロックがオンになるとKVMスイッチからビープ音が2回鳴ります。オフになると1回鳴ります。

- オーディオロックをオンにするには、**左Ctrl**、**左Ctrl**、**F5**を押します。
- オーディオロックをオフにするには、**左Ctrl**、**左Ctrl**、**F5**をもう一度押します。

別のホットキーコマンド

ポートを選択するには、**左Ctrl** ホットキーコマンドのほかに、2つのコマンドがあります。

- **Scroll Lock**、**Scroll Lock**、選択したいポートの番号を押します。
- **Num Lock**、**Num Lock**、選択したいポートの番号を押します。

注意：上記ホットキーコマンドを入力する際、キーボード右側のキーパッドは使用しないでください。

技術サポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、www.startech.com/supportまでアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンライン工具、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

ドライバやソフトウェアに関する最新情報はwww.startech.com/downloadsでご確認ください

保証に関する情報

本製品は2年間保証が付いています。

StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人)は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害(直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。

StarTech.com

Hard-to-find made easy®

見つけにくい製品が簡単に見つかります。StarTech.comでは、これが企業理念です。それは、お客様へのお約束です。

StarTech.comは、お客様が必要とするあらゆる接続用パーツを取り揃えたワンストップショップです。最新技術からレガシー製品、そしてこれらの新旧デバイスと一緒に使うためのあらゆるパーツ。当社はお客様のソリューションを接続するパーツを見つけてのお手伝いをしています。

当社はお客様が必要なパーツを見つけるのを助け、世界中どこでも素早く配送します。当社の技術アドバイザーまでご連絡いただくか、当社のウェブサイトまでアクセスしていただくだけで、お客様が必要としている製品をすぐに提示します。

StarTech.comが提供しているすべての製品に関する詳細な情報はwww.startech.comまでアクセスでご確認ください。ウェブサイトだけの便利な工具をお使いいただけます。

StarTech.comは接続や技術パーツのISO 9001認証メーカーです。StarTech.comは1985年に創立し、米国、カナダ、イギリス、台湾に拠点を構え、世界中の市場でサービスを提供しています。